

[第 120 回藤樹人間学塾のご案内]



皆さま

令和3年 11月

NPO法人高島藤樹会

■ 日 時 令和3年 12月 4日(土) 15時～17時

■ 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89)

■ テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」

テキスト 中江藤樹著・西晋一郎通釈『中庸解・通釈』第 27 章 p.373～

塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)

■ 懇親会 17時30分～ 会場 ウエストレークホテル可以登楼(JR 安曇川駅前)

参加費 4,000円★参加いただける方は、11/30 までに田中までご連絡ください。

中庸解は
最終回



本塾は藤樹先生の教えを学び、人間いかに生きるべきかを共に考える形で進めています。

11月6日(土)午後、安曇川公民館で第119回藤樹人間学塾を開きました。参加者は7人でした。

今回は『中庸解』第27章の中段です。皆で読み下し文と解釈の文章を輪読しました。そして大意を話しました。この節は修養の方法を説いています。

「故に君子(学者・教養人)は、学問の本然である徳性を尊んで知識と徳を磨く。この徳性は本来万物を容れる広大なもので微塵も漏れることがない。この徳性は本来、天とつながって高明であり、意念(我欲)を取り去ることにより中庸(の境地)に至る。古の聖賢による書物を読んで自己を省察し、自己の固有の徳性や新しい知識を知徳する。五事(貌・言・視・聴・思)を一つ一つ正すことを実践し、もって礼儀を尊ぶ」。藤樹先生は、学者とは徳のある人をいう。徳のある人とは、ちょっとした善行を日々積むことをおろそかにしない人をいわれています。小さな善、つまり陰徳を10年、20年と続けてようやく徳のある人になれるということでしょう、と述べました。

そして、NHKスペシャルで放送された「メジャーリーガー大谷翔平～2021超進化を語る」の話をしました。彼は今年、大活躍をして、満場一致でMVPを獲得しましたが、2018年から2020年までの3年間はけが等で不調でした。その彼がなぜ、今年、大活躍できたのか？それは(1)父の教え「いつも一生懸命にプレーする」という熱意を持ち続けた、(2)高1の時に、非常に高い目標と、実現するための64項目の綿密な計画を立て、実行し続けたこと、(3)最新の技術や優秀なコーチ等を最大限活用したこと、(4)1打席、1投球に集中するとともに毎日反省して、更なる高みを目指して挑戦を続けたこと、(5)何より野球が大好きで、野球を楽しんでいることだと思います。

なかなか大谷選手の真似をできるものではありませんが、私たちが「有限の人生をいかに生きるべきか」を考える時に、大いに参考になると思うと述べました。

参加者からは、「あの大谷選手にも苦しい時があって、それを乗り越えてきたというお話を聞いて、私も困難があったがそれを乗り越える力を得た」等の意見、感想をいただきました。

学ぶは愉し！人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。参加費は無料です。